

普及活動情勢報告（令和6年8月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

1年間お疲れ様でした！ ～春野胡瓜部会反省会～



反省会の様子

7月29日、J A高知県春野営農経済センター大会議室にて、春野胡瓜部会反省会が行われ、生産者38名が参加しました。

普及所からは、常温煙霧機などの試験結果を説明した後、農作業事故防止を中心としたGAPや農薬適正使用について啓発しました。

生産者からは、常温煙霧機の防除効果や保護マスクの種類、残留農薬の検出事例など様々な質問がありました。

今回いただいた意見を来作の指導に生かせるよう、引き続きJ Aと協力し、支援していきます。

ハウス内環境を見てみませんか？ ～J A高知市三里園芸部野菜部会研修会～



勉強会の様子

8月15日、J A高知市三里園芸部野菜部会がJ A高知市三里園芸出荷場で勉強会を開催し、生産者13名が参加しました。

普及所は、植物生理とSAWACHIについて説明し、専門技術員から温度やかん水管理等の改善策を提案しました。

参加者からは「温度が光合成適温よりだいぶ高かった。温度を見直した方がえいね。」といった声が聞かれました。また、栽培や環境制御の質問も多くあり、植物生理に基づいた環境改善の理解を深めました。

普及所は今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。

トマトの実証ほの調査を開始 ～省力的な栽培に向けて～



生育調査をする普及職員

8月19日、高知市春野町のトマト栽培ほ場において、誘引作業の省力化に向けて普及所とJ Aで設置した実証ほの調査を開始しました。実証ほでは、慣行の「つる下ろし整枝法」と、省力化を期待する「斜め誘引整枝法」を実施し、誘引方法の違いが労働時間や生育に及ぼす影響について調査します。

生産者からは、「誘引作業を省力化し、病虫害防除等の栽培管理の遅れがないようにしたい」といった声が聞かれました。

普及所は今後もJ Aと連携しながら、トマトの省力的な栽培技術を検討していきます。

新しい取組品目を考えよう ～鏡むらの店研修会～



高温対策について
説明する普及指導員

8月21日、高知市中山間地域構造改善センターで鏡村直販店組合の勉強会が行われ、生産者など21名が参加しました。

高知県木材産業振興課から講師を招き、山菜の活用について説明後、普及所からは秋植え作物の注意点を説明しました。

参加者からは、身近な山菜などの特産林産物に対する価格の付け方や苗の入手方法、秋植え野菜の管理などの質問があり、関心の高さがうかがえました。

今後も普及所は、管内直販所の活性化に向けて支援していきます。